

所属	氏名	選挙区	Q1 県民への情報公開と説明、受水市町村の合意形成が十分に行われているか？	Q2 県議会で「みやぎ型」導入について十分に熟議が尽くされたか？	Q3 県議選後の11月定例会に「みやぎ型」実施方針条例を諮ることについて	Q4 今後、県議会に「みやぎ型」実施方針条例が提案されたら？	Q5 その他、この問題についての意見
自民党	中 沢 幸 男	青 葉					
	福 井 崇 正	青 葉	②ある程度行われている	②ある程度行われてきた	①賛成	①賛成する。水質を維持し、つとめて料金を抑えながら長期需要減と管路や設備の更新・補修等に関し長期間に公設民営のメリットを展開できる「みやぎ型管理運営方式」は行政改革の一環と考えたい。	「みやぎ型」導入時期は令和4年度を想定しており、県民の方々のさまざまな疑問や不安に対し十分理解を得られる説明が可能と思われず。料金決定方法についても、県と市町村との協議や県議会の議決を義務づけており、事業の透明性は十分確保されます。
	石 川 光 次 郎	宮 城 野					
	渡 辺 勝 幸	若 林					
	高 橋 克 也	若 林					
	佐 々 木 幸 士	太 白					
	渡 邊 拓	太 白					
	遠 藤 隼 人	泉					
	庄 田 圭 佑	泉					
	外 崎 浩 子	泉	②ある程度行われている	②ある程度行われてきた	③どちらとも言えない。議会での議論に参加した上で決定します。	県議会の中で議論を進めるべく今回、県議選しっかり戦います。	
	斎 藤 正 美	石 巻・牡 鹿					
	佐 々 木 喜 藏	石 巻・牡 鹿					
	柏 佑 賢	塩 釜	②ある程度行われている	②ある程度行われてきた	①賛成	①賛成する。「みやぎ型」は地方から国を動かすモデルとなり得ると思う。	上・工・下水道の三つの事業をまとめるとその運営の一部を民間業者に任せるもので、全てを民間業者に委ねるのではない。料金引き上げをはじめ、水道事業の課題に直面する。今、「みやぎ型」を頭から否定するのではなく、事実を正確に捉えた上で冷静に判断すべきだと考える。要するに、県の管理のもと民間事業者の業務内容を見直し、コスト削減を図るのが「みやぎ型」ではないかと思う。
	畠 山 和 純	気 仙 沼・本 吉					
	守 屋 守 武	気 仙 沼・本 吉					
	安 藤 俊 威	白 石・刈 田					
横 山 隆 光	白 石・刈 田						
村 上 久 仁	名 取						

所属	氏名	選挙区	Q1 県民への情報公開と説明、受水市町村の合意形成が十分に行われているか？	Q2 県議会で「みやぎ型」導入について十分に熟議が尽くされたか？	Q3 県議選後の11月定例会に「みやぎ型」実施方針条例を諮ることについて	Q4 今後、県議会に「みやぎ型」実施方針条例が提案されたら？	Q5 その他、この問題についての意見
自民党	仁田和広	多賀城・七ヶ浜					
	深谷晃祐	多賀城・七ヶ浜					
	八島利美	角田・伊具					
	村上智行	岩沼					
	伊藤吉浩	登米					
	長谷川敦	栗原					
	瀬戸健治郎	栗原	③どちらとも言えない	③どちらとも言えない	③どちらとも言えない	③どちらとも言えない	老朽化した配水管、施設の更新等で今後、莫大な予算を投じなければならない。一方、給水人口の減少や節水型の機器で水の需要は減少に向かう。コストを低減させ、安定した給水を行うのが大切と考えます。
	高橋宗也	東松島					
	中島源陽	大崎					
	菊地恵一	大崎					
	佐々木賢司	大崎					
	藤倉知格	富谷・黒川	②ある程度行われている	④十分には行われていない	③どちらとも言えない	③どちらとも言えない	
	中山耕一	富谷・黒川	②ある程度行われている	②ある程度行われてきた	①賛成	①賛成する。将来の水道事業経営において必要。	
	高橋伸二	柴田					
渡辺和喜	亘理						
立憲民主党	遊佐美由紀	青葉	④十分には行われていない。事業の将来見通しについての予想は、信頼性のある数値を出しておらず、制度(事業)そのものの理解を得ることが出来ない。条例を定めてから(11月提案)詳細を決めるのでは、まったく県民不在の県政である。	⑤まったく不十分である	②反対	②反対する。更新投資額が予想よりも膨らみ、水道料金が高くなり、受益者負担が増大する恐れがあること。20年先を見通す制度には不確定要素が多すぎるから。	被災県である宮城県が初めて導入する事業にはリスクが多く、事業実施には国の許可が必要であるなど、導入そのものを見送るべきである。
	渡辺博史	青葉	④十分には行われていない	④十分には行われていない	②反対	③どちらとも言えない。みやぎ型管理運営方式について「情報公開」「県民の理解」を徹底し、慎重な審議を求めたいと考えております。	
	三浦奈名美	若林	⑤まったく不十分である。まず、「水道事業の民営化」という課題について、多くの県民がご存知ない事実があります。県主導の説明会には、いわゆる業界団体の方々のみでの出席で、県民は議論の外側です。	⑤まったく不十分である	②反対	②反対する。「みやぎ型」には、第三者機関による監視体制確立、県民への情報公開の仕組み確立が担保されているとは考えられません。	このまま、永久に県行政のもと水道事業を担えば、おそらく水道料金の値上げが想定されます。命と健康の源である水道事業は本来は公の使命ですが、怠慢による水道事業の不安定が確実視される今、左記記載の仕組みを必ず整えなければ賛成できない考えです。

所属	氏名	選挙区	Q1 県民への情報公開と説明、受水市町村の合意形成が十分に行われているか？	Q2 県議会で「みやぎ型」導入について十分に熟議が尽くされたか？	Q3 県議選後の11月定例会に「みやぎ型」実施方針条例を諮ることについて	Q4 今後、県議会に「みやぎ型」実施方針条例が提案されたら？	Q5 その他、この問題についての意見
立憲民主党	石田 一也	太白	④十分には行われていない。地域を歩いているとほとんど理解が進んでいないように感じます。	④十分には行われていない	③どちらとも言えない	②反対する。十分な議論が尽くされていないと思います。県民の命にかかわる問題でもあり、調査特別委員会を設置するなど、熟議を尽くすべきと考えます。	
	小畑 きみ子	泉	④十分には行われていない。地域を歩いていて、水道三事業の民営化についてご存知の方は殆どいません。	⑤まったく不十分である	②反対	②反対する。「みやぎ型」であっても水道事業の民営化には変わりなく、「水」インフラ事業の利益追求民営方針には賛同しかねます。	
	坂下 賢	石巻・牡鹿					
	境 恒春	気仙沼・本吉	④十分には行われていない	④十分には行われていない	②反対	③どちらとも言えない	
	太田 稔郎	名取	パブリックコメントを見ることが出来るのはごく一部。多くの県民への説明を行うべき。受水市町村でも市民に対して説明していく必要があります。	④十分には行われていない	②反対	②反対する。審議する時間が少なく、県民の命の糧である水の重要性をもっと議論すべき。	
	荒川 洋平	名取	④十分には行われていない。内容を理解している県民が現状どれほどいるか疑問である。よって、合意形成をはかる段階にない。	④十分には行われていない	②反対	③どちらとも言えない。これからの議論の中で導き出していきたい。	
	佐藤 仁一	大崎					
日本共産党	金田 基青	葉	⑤まったく不十分である。実施方針(素案)の説明もないままに、HP上の素案を読み解いてパブリックコメントを1ヶ月の間にらせる人がどれだけいるのか？「県政だより」9、10月号でパブリックコメントを実施しますと書いているが、どのように実施するのかすら書かれていない。	⑤まったく不十分である	②反対	②反対する。利益の確保を至上命題とする民間企業に運営権を売り渡す事には反対である。安全・安心の水は公営でこそ。	
	大内 真理	宮城野	⑤まったく不十分である。受水市町村から提出された10、13項目の質問書に対する県の回答は「今後対応」「応じた企業からの具体的な提案がないと答えられない」というものばかりで、今年9月20日仙台市初主催の住民説明会の場や最近の議会答弁の場で仙台市は「県からの回答が無いものがあるので、仙台市として判断するためにも引き続き説明を求めていく」というもの。受水市町村でさえ判断できない事を県民が納得できるはずがとうていありません。	⑤まったく不十分である	②反対	②反対する。ローマ法王も「水の民営化は人権侵害」と明言しました。命と人権に直結する課題であり、日本共産党は会派をあげて、他会派にも呼びかけて反対の論陣を張ってきました。もとより反対ですが、県民合意、受水市町村との合意もまったく成り立たないのに、10月県議選で新旧交替した後の一番初めの11月議会で条例を決めようなんてあまりに拙速すぎます。民主主義を踏みこむ暴挙です。	日本共産党県議団は水道民営化の導入可能性調査などを知るために行政文書の開示請求をしました。490頁中、1/3の160頁が「完全のり弁」真っ黒。不服審査請求を行い、情報公開審査会の弁護士先生方がやり直しを答申した後もほとんど内容のわからない「きざみのり弁」状態でした。県民の知る権利よりも企業の利益優先が宮城県姿勢であり、絶対認められません。
	福島 一恵	若林	⑤まったく不十分である。実施方針は大枠で民営化をすすめることを決める内容であり、その細部にわたる部分がハッキリ示されていない。説明不十分。	⑤まったく不十分である	②反対	②反対する。県民や受水市町村などへの説明責任を果たしていないから。又、民営化すれば、コスト削減になるという根拠が示されていない。	コンセッション方式導入を村井知事が国へ提案・要望したことは許せない。
	角野 達也	太白	⑤まったく不十分である。県は「県政だより」に掲載したとか市町で説明会を行っているが、県民からの疑問や不安は、日に日に高まっている。	④十分には行われていない	②反対	②反対する。 ・拙速すぎる・水道料金高騰と水質悪化の可能性・災害時対応、会社経営悪化時の対処・海外での再公営化	「命の水は、公営で」の立場で市民のみなさんとともに民営化ストップ目指してがんばります。
	中嶋 廉	泉	⑤まったく不十分である。私が会った県民が口々に「中身が分からない。心配だ」と言っている。そもそも県が広範な県民対象の説明会を開く方針をもっていない。	⑤まったく不十分である	②反対	②反対する。重要な事項が民間事業者と知事の契約で決まる仕組みだ。実施方針条例の提案は「中身不明のまま20年間の委任」を求める不当なものだ。	県営水道にはもともと過大投資がある。まず県民に水道問題を知らせることから始めて、設備・管路等のダウンサイジングと耐震化、技術者の確保など、持続可能な水道事業への転換を、公営連携の活用により県民合意で進めるべきだ。村井知事の民営化は、水道問題の解決の妨害でしかない。県民合意めき、情報公開の後退、あらゆる点で民主主義に反する。コンセッション方式の水道民営化は、民間が必ず利益を上げ、リスクと負担を県民と県が負うものになっている。水質や経営状況のモニタリング等の監督・監視では必ず二重コストが発生する。「料金は議会が議決する」といっても、議会に詳細な経営情報が示される保障がなく、歯止めになりえない。水道料金の増高、水質悪化、災害時対応の問題、自治体の技術・経営能力の喪失など、指摘されている懸念がすべて現実になる可能性が高い。

所属	氏名	選挙区	Q1 県民への情報公開と説明、受水市町村の合意形成が十分に行われているか？	Q2 県議会で「みやぎ型」導入について十分に熟議が尽くされたか？	Q3 県議選後の11月定例会に「みやぎ型」実施方針条例を諮ることについて	Q4 今後、県議会に「みやぎ型」実施方針条例が提案されたら？	Q5 その他、この問題についての意見
	三浦 一 敏	石巻・牡鹿	⑤まったく不十分である。情報公開してもほとんど黒塗りで全く話にならない。市民にも、議員にも、水道が民営化(宮城方式と言うが)してどうなるかの実態が示されていない。	⑤まったく不十分である	②反対	②反対する。情報が公開されず県民不在である。水道は運営権を大手メジャーにまかせることは大変不安であり大きなリスクをとまう。	県民運動をまきおこし、宮城型・民営化を阻止するために皆さんと一緒に頑張ります。そのためにも、異議を唱え、反対の県議をいかに大きくするかがカギと思う。
日本共産党	天下 みゆき	塩 釜	⑤まったく不十分である。民営化することで10~40%のコスト削減が可能というが、その根拠は未だ不透明。共産党県議団が行なった県の「導入可能性調査」等の開示請求は、提案書の160頁もが全部黒塗り。理由は企業の利益を損なうから。民営化されると限りなく情報が隠される危険がある。	⑤まったく不十分である	②反対	②反対する。命の源である水を、もうけを目的とする民間企業に委ねることは認められない。県民おきざりで強引に進めることは問題である。	この問題は、県議選の大きな争点です。ごいっしょにがんばりましょう！
	藤原 益 栄	多賀城・七ヶ浜	⑤まったく不十分である。日本共産党県議団が「導入可能性調査」と「資産調査」の公開を求めたが、企業提案書の160ページもが全部黒塗りであった。県民への情報公開は極めて不十分であり、合意形成も不十分である。	⑤まったく不十分である	②反対	②反対する。水道民営化は、経理の不透明化と相次ぐ料金値上げ、水質の悪化等により、世界では破綻済である。加えて長期にわたり事業を企業に委ねれば、県に水道・下水道の事業をわかる人がいなくなり、県が企業の言いなりになる危険性が増すので、強く反対する。	
	内藤 隆 司	大 崎	⑤まったく不十分である。実施方針(素案)では、これから具体化される項目が多すぎて、県民の不安に応えるものになっていない。県民から意見を募集する段階でさえない。	⑤まったく不十分である。質問にまともな答弁が返ってきていない。	②反対	②反対する。水道事業には安全性、低廉化、安定供給が求められる。利益優先の企業では、この事業はできない。	民営化の危険性を多くの県民に知らせ、運動を急速に広めることが大切です。
公明党	遠藤 伸 幸	青 葉					
	庄子 賢 一	宮 城 野					
	横山 昇 太	太 白					
	伊藤 和 博	泉					
社民党	岸田 清 実	太 白	⑤まったく不十分である。4回行われたシンポジウムとも企業関係が多く、県民の参加はごく少数で、理解が広がっているとは言いがたい。モニタリングの内容はまだ公表されず、提供される情報が全く不十分だ。	⑤まったく不十分である	②反対	②反対する。必要な情報が十分提供されていない中で、条例提案だけが先行するのは許されない。	命に関わる水の問題は、もっと慎重に取り扱われるべきだ。
	熊谷 義 彦	栗 原	⑤まったく不十分である。受水市町村の不明点に十分に対応していない。受水市町村は住民に説明できていない。	⑤まったく不十分である	②反対	②反対する。県民の議論が不十分な中で、民営化は許されない。	
国民民主党	柘 和 哉	柴 田	④十分には行われていない。あまり詳しくわかりませんが、9月に素案の公表をしたら、それを県民に説明する期間を設けてからのパブリックコメントの実施と考えるが。	③どちらとも言えない	②反対	③どちらとも言えない。新人で立候補予定なので、「みやぎ型」についてこれまでどの様な説明と議論がなされてきたのか分からないので、今のところどちらとも言えません。	
無所属	菅 間 進	青 葉	⑤まったく不十分である。県民への情報公開と説明については、ようやく今月発行の「みやぎ県政だより」9・10月号で実質なされたが、それも素案を公表し、すぐにパブコメという段階まで来てるもので、決まりましたから言う事を聞いて下さい的な観は否めない。	④十分には行われていない	②反対	②反対する。県議会の質問でも問題点の指摘については正面から受け止める答弁には残念ながら思えず、始めから結論ありきうかがえ、まだまだ課題が多い。このコンセッション方式には賛成できかねる。	民営化についての動きを知らなければ、まして問題点などわからないのが市民、県民一般だと思われます。H30年3月の予算特別委員会で私は「よらしむべし 知らしむべからず」の例えを出し、県民への情報公開、説明不足を指摘しましたが、もっと丁寧な県民・市民への周知、情報提供が必要と思われる。
	吉川 寛 康	青 葉	②ある程度行われている	①十分行われてきた	①賛成	①賛成する。将来の課題を先送りすべきではない。	
	大草 芳 江	青 葉					
	坂下 康 子	宮 城 野	④十分には行われていない。説明会等に参加している方が、関係者ばかりである。	④十分には行われていない	②反対	③どちらとも言えない。まずは、県民の健康についての安全、安心の担保、公の責務を考えるべき。熟議が必要。	

所属	氏名	選挙区	Q1 県民への情報公開と説明、受水市町村の合意形成が十分に行われているか？	Q2 県議会で「みやぎ型」導入について十分に熟議が尽くされたか？	Q3 県議選後の11月定例会に「みやぎ型」実施方針条例を諮ることについて	Q4 今後、県議会に「みやぎ型」実施方針条例が提案されたら？	Q5 その他、この問題についての意見
	本木 忠一	石巻・牡鹿					
無所属	斉藤 巳寿也	気仙沼・本吉	③どちらとも言えない	③どちらとも言えない	③どちらとも言えない	③どちらとも言えない。県の水道事業に民間活力を活かし、コスト削減などに取り組むことは一定の賛同できるものの、官民連携の道筋に対し、今までの経緯と内容を精査できる立場で結論を出すことが必要と考えるから。	災害時の対応は、従来どおり県の責任とあるが、官民連携の詳細が今ひとつはっきりしない感がある。責任の明確化とともに、具体的施策として明確化できる「みやぎ型」方式の確立が必要であると考え。
	加藤 博子	岩沼	⑤まったく不十分である。市民は民営化になるとどうなるか、まだよくわかっていない。海外事例では、料金が上がり、低所得は使えないなどの事例はかくされている。	⑤まったく不十分である	②反対	②反対する。県民が求めるものは、一時的なコスト削減ではなく、継続に安心・安全な水が供給されることである。	2000年から2015年までの15年間で、37ヶ国235都市で再公営されている。税金の使い方次第で方策はあると考える。
	田村 宏	岩沼	④十分には行われていない。短期間である。	④十分には行われていない	②反対	③どちらとも言えない。当選するかどうか分からない。	どのような制度であれ、チェック機能を確立させる事が重要。
	渡辺 忠悦	登米	④十分には行われていない。対面式や書面での対応があっても良い。	③どちらとも言えない	③どちらとも言えない	③どちらとも言えない。議論不足のため、及、調査不足。	
	佐々木 奈津江	登米					
	渡辺 重益	亘理					
	鈴木 敦	亘理	②ある程度行われている	③どちらとも言えない	③どちらとも言えない	③どちらとも言えない。10月以前の審議に加わっていない事から内容を十分に理解していない可能性があるから。	
	小淵 洋一郎	宮城	②ある程度行われている	②ある程度行われてきた	③どちらとも言えない	①賛成する。人口減少による水道事業収益の減少、給水送水管の更新需要の増大等、水道事業は今後、ますます厳しい経営環境になっていく。持続可能な安定した水道事業を維持するためには、民間活用をとり入れた連携が必要。	
	桜井 正人	宮城	④十分には行われていない。人口減少や節水等で使用料は減っていき、料金の引き上げも予想される。そこで運営権を民間企業に一括で売却し、コスト削減で料金引き上げを抑える狙いがあるが、削減効果ははっきりしない。安全性や災害時の対応は大丈夫か？との意見がある。制度の方向性をしっかり示すべきと思う。	④十分には行われていない	③どちらとも言えない	③どちらとも言えない。新人候補なので③としか答えられない。	
	安部 孝	宮城					
	高橋 啓加	加美	③どちらとも言えない	②ある程度行われてきた	③どちらとも言えない	①賛成する。きちっとリスク管理ができれば、民営化は悪いことではない。	将来の水道料金の推移を県民に示し、ご意見を頂きながら進むべきで、かつ、将来の料金の上がり巾は極力小さくすべきである(例:10年据置、5%以内とするとか)。
	佐々木 功悦	遠田	④十分には行われていない。上工下一体官民連携運営に関わるシンポジウムでありながら、シンポジウムの表題が「水道の未来を考える」で内容説明のほとんどが上水道に関わるものである。下水道施設関連に関わる説明が不十分。	②ある程度行われてきた	②反対	③どちらとも言えない。県の提案は、人口減少社会の到来や節水型社会の進展により水道用水供給事業の給水量の減少による収益減や今後施設の更新需要が増加し莫大な設備投資が必要となる等、厳しい経営見通しを改善させるためのものでもあることも考慮する必要を感じております。仮に反対した場合に、今後の厳しい経営見通しにどう対応するかの考えを示さなければ、無責任な結果となります。ここは慎重に検討しなければならないと考えています。県も県民の不安解消にもっと努力すべきです。県民生活を大事に考え、決して「政局にしない」取組みを望みます。	
	門田 善則	遠田	③どちらとも言えない	③どちらとも言えない	①賛成	①賛成する	

